

# 思わぬ試練や困難に遭っても！

万代 栄嗣



**こ** れほどの大きな被害になろうとは思いませんでした。去る7月6日(金)から西日本を襲った記録的豪雨による被害のことです。死者、行方不明者は200名を越えています。各地の河川の氾濫や土砂崩れによる被害も深刻で、復興には相当な時間が必要な見通しです。

全国ニュースでは、愛媛県大洲市の<sup>ひじかわ</sup>肱川の氾濫の様子も伝えられました。何台もの車がプカプカと泥流に流されて行く映像にショックを受け、大洲キリスト教会と信徒の方々をご心配くださった皆様から、たくさんのご連絡をいただきました。皆様のお祈りにより支えられ、献堂したての教会は全く何の害も受けず守られましたし、兄弟姉妹たちも皆、元気です。断水が続いていたり、ご親族に貸していたお家が浸水したり、職場が浸水し仕事の再開が見込めなかったり…と、まだまだ問題はありますが、お一人お一人が祈りつつ、明るく歩いておられます。やはり、信仰の力は偉大です。

松山を含む愛媛県は、元々自然災害の少ない土地柄です。瀬戸内に面し、雨も少なく、温暖。台風が来ても、鹿児島や高知のような直撃はなく、地震も少なく、津波の心配もなし。ですから、今回の被害は、本当にびっくりすることなのです。県や市町村も、今後は、最近の気象変動や南海トラフ地震の可能性などを含めて、今まで以上に自然災害への対応が求められます。そして、何よりも私たち一人一人も、安全で快適であることを当たり前とせず、自分自身でも災害などに対応する心構えを整えておく必要があります。

ダビデは、詩篇69篇の中で、“神よ。私を救ってください。水が、私ののどにまで、はいつて来ましたから。私は深い泥沼に沈み、足がかりもありません。私は大水の底に陥り奔流が私を押し流しています(1,2節)”と叫んでいます。比喩的に人生の困難を表現しているだけでなく、本当に洪水のような状況で溺れそうになった経験があったのかもしれない。いずれにせよ、彼は、人のいのちの弱さと儂さを痛感し、いのちの与え主である神様に向かって、必死に叫び、祈っています。クリスチャンである私たちは、単なる理想主義者ではありません。人生の中で、私たちの思いとは異なる大きな試練や困難に出会うこともあります。しかし、どのような場面でも、私たちは自分の力だけを当てにせず、人の知恵だけでもがくのでもなく、創り主である神様に素直に祈れることを感謝したいと思います。私たちの歩みには、神様が常に共にいてくださいます。試練や困難の時にこそ、神様を見上げ、助けと導き、平安と祝福を求めて祈ってまいりましょう。

## rcommend

### おすすめ情報

おすすめ



#### 片目の王

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳  
ウィズダム出版(1500円)

ごく普通の人が、偉大なことを成し遂げるための9つのポイントを伝授。現状を打開する方法を見出せます。

プレゼントに



#### 無敵の鎧を身にまとえ

— 真のリーダーは奇跡をも起こす —

■ビル・ウィルソン著／万代栄嗣訳  
ウィズダム出版(1800円)

マイナスから始め、世界的組織を作り上げた成功哲学は、リーダーの立場にある全ての人々に必ず役立ちます。